

みやこんじょ



No.47

発行日 2017年5月1日
 発行 独立行政法人国立病院機構
 都城医療センター
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
 TEL 0986-23-4111

基本
 理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

みやこんじょ

院長 冷牟田 浩司

新年度が始まりました。4月3日より病院には新人職者が加わりました。4月6日には附属看護学校の新入生を迎え、キャンパスに活気がわいてきました。初々しい新人の皆さんの息吹でこの「みやこんじょ」がお手元に届くころには病院の敷地内は春爛漫となっていることでしょう。

皆様には常日頃より、当院の診療、研修、教育、研究活動に多大なるご協力とご高配を賜り、御礼申し上げます。特に患者の皆様のご紹介や当院での診療が一段落し、転院受け入れ、かかりつけ医をお願いするなど大変お世話になっております。

昨年度、当院では長年の懸案であった諸施設の新築改変工事がすべて完了しました。新病棟、新外来棟建立は一昨年10月までに完成していましたが、昨年8月、駐車場整備、剖検室設置を終え、敷地内設備整備がすべて完了しました。本年3月から整理された敷地内の全面禁煙に踏み切りました。電子カルテも8月に更新され、病院の機能強化が図られました。まだまだ改善すべき課題も残っておりますが、かつてご不自由をおかけしておりました外来・入院診療、療養のインフラは満足いただけるように整備されたと思います。

箱モノは出来上がりました。そのインフラに恥じない医療を実践するために一層の「中身充実」するように努めたいと思います。

しかし、激動する医療界の動向の中、喜んでばかりはおられません。2025年へのカウントダウンの鐘の音がいよいよ大きくなってきました。昨年10月に公開された宮崎県の地域医療構想では、2025年での地域の必要病床数、居宅医療の必要量が想定されています。都城医療センターが属する都城北諸県医療圏では、2014年の現存総病床数は2,767床で、2025年には必要総病床数は1,911床に減少すると想定されています。特に高度急性期・急性期医療の必要病床数は現在の約半分であろうと推定されています。一方で、回復期医療の必要病床数は2倍に増え、在宅医療等の必要資源も大きく膨らむとされています。このような医療・介護の需要変化に基づき、高度急性期から在宅医療に至るまで病状に応じた病床が適切に確保されることが必要です。さっそく新年度早々、地域医療構想調停会議が再開され、地域での一層の病床機能の分化・連携、役割分担の議論が具体的に始まっています。当院もその議論に積極的に参加し、私共に求められる役割を慎重に検討し、果たてゆくつもりです。

まず従来から地域で果たしてきた2つの柱を維持してまいりたいと思います。

地域がん診療連携病院の立場から、地域におけるがん診

療の中心的施設としての役割を果たしてまいります。5大がん、血液がん、婦人科がん、泌尿器がん、頭頸部・口腔がんなどの様々ながん患者の皆様に対し、手術療法、化学療法、放射線療法を中心に緩和ケアや生活支援、がん登録業務などがん患者に対する包括的支援体制のもと、しっかりお世話してまいります。

第2の柱として、地域周産期二次中核病院、地域周産期母子医療センターとして、母体搬送から新生児集中治療にいたるまで、県西地区および鹿児島県大隅地区の高度周産期医療のセンター施設の責任を果たしてまいります。また県内4か所の地域小児科センターとして小児疾患の二次受け入れ機関の役割も果たしてまいります。宮崎県の周産期死亡率は全国でトップレベルを維持していますが、県西地区では当院をセンターとして一次周産期医療施設とのリアルタイム胎児情報ネットワークシステムが運用されており、「安心して子供を産める、育てることができる」地域として評価をいただいています。

また、地域医療支援病院、救急告示病院、開放型病院としてもかかりつけ医の皆様と連携しながら総合的急性期医療を行ってまいります。地域医療支援病院として地域の医療従事者の皆様の生涯研修の支援もさらに充実させたいと思います。スキルアップラボでの実技研修、がん診療拠点病院研修会、感染管理研修会、医療安全研修会、病診連携の夕べ、歯科病診連携の夕べ、緩和ケア研修など様々な研修会を行なっています。気軽にご参加ください。次世代の医療従事者候補の小学生・中学生に対して医療体験ツアー（メディカルキッズ）も引き続き行ってまいります。これらの活動を通じて、地域医療の中心としての責務を果たしてまいります。

地域医療を担う看護師の養成も引き続き行ってまいります。先日、看護師国家試験の発表があり、当院の附属看護学校は5年連続100%合格を果たしました。昨年、宮崎大学から17名の初期研修医の研修を受け入れました。今年はこちらに多くの研修医を受け入れる予定です。

激動の地域医療情勢の時期、地域のために何をすべきか、職員一同とともに前向きに考え、病院運営を進めてゆきたいと思っています。今後ともよろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



退任のご挨拶

氏名：小児科医長 横山 晃子

このたび、3年間お世話になった都城医療センターを退職することとなりました。

在職期間は、周産期医療の充実化、病棟改編で2病棟への移動、また新外来棟完成に伴う外来体制整備など、様々な経験をさせていただきました。

困ったときは井口前院長、冷牟田院長からいつもお心配りをさせていただいたことや、一緒に働いた9人の小児科の先生方が、自分のことだけでなく当科を良くする方向に奮闘してくれたことが大きな支えだったと思います。

最後になりましたが、様々なご協力をお願いした当院の各部署の方々、および、病診連携の各医療機関の方々に深謝いたします。

氏名：外科医長 松本 克孝

一年間という短い期間でしたが、在任中は大変お世話になりました。

2回目の都城、10年前とは立場も違い少々戸惑いもありましたが、沢山のスタッフに支えられ、任務を終えることができました。

新年度外科は3名交代となり大変ご迷惑をおかけしますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

氏名：看護部長 江崎 章子

2年前赴任した時、「都城医療センター」へ改名されるセレモニーが私を迎えてくれました。70年余り親しまれた「都城病院」の改名でした。メディカルセンターとしての役割を發揮していくという、当時の井口院長の思いが伝わってきました。新外来・管理棟移転の経験もさせていただきました。また地域包括ケアシステムのなかでの看看連携のあり方や当院の役割などの学びは、私の貴重な財産となっています。病棟ラウンド時、5病棟から眺める霧島の山が好きでした。地域や職員の皆さんに支えられ仕事ができたと感謝いたします。

氏名：副薬剤部長 福石 和久

平成26年4月の着任以降、3年間大変お世話になりました。着任早々、病院機能評価受審、次年度は病棟薬剤業務実施加算の取得、本年度は電子カルテ導入に携わりました。もとより浅学非才の身ではありましたが、皆様のご指導を仰ぎ温かいご協力をいただくことで何とか3年間やってこれたと思っております。これといった業績は残せませんでした。ここでの経験を活かして多くの方のお役に立てるよう精進していきたいと思っております。これまでの皆様方のご指導、ご支援に感謝申し上げますとともに、都城医療センターの益々のご発展と皆様方のご健勝とご多幸を祈念し退任のご挨拶とさせていただきます。



就任のご挨拶



氏名：加治屋 芳樹

役職：放射線科部長

着任にあたっての抱負：鹿児島県出身、福岡大学医学部卒業後、鹿児島大学放射線科に入局し、診断、血管造影（IVR）、治療と広い分野に携わってきましたが、現在は放射線治療を専門としています。1999年からは鹿児島市立病院に17年間在籍しておりました。これからも放射線治療を中心に地域医療にお役に立てるように頑張ります。



氏名：田中 洋

役職：外科医長

着任にあたっての抱負：平成29年4月1日より都城医療センター外科勤務となりました田中洋です。平成7年度熊本大学旧第一外科に入局、これまで肝胆膵外科を中心に研鑽を重ねてまいりましたが、まだまだ未熟で都城の地域医療にどれほど貢献できるかわかりませんが、患者さんには合併症が少なく根治性の高い外科治療を提供できるよう頑張りたいと思っておりますのでご紹介よろしくをお願いいたします。



氏名：林 勇佑

役職：小児科医長

着任にあたっての抱負：この度、小児科医長を拝命いたしました林勇佑と申します。宮崎県南・県西地域を中心に新生児・小児医療に全力で邁進したいと思っております。特に新生児集中治療室は本年度も連日満床で稼働しております。私も含めた小児科スタッフの若返りもあり、（診療が軌道に乗るまでの間）原則に胎32週以降の児を対象に診させていただきます。多くの先生方に多大なご迷惑をおかけしますが、若さ全開で頑張っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



氏名：赤星 誠美

役職：看護部長

着任にあたっての抱負：この度、九州医療センターから昇任で参りました赤星と申します。宮崎県の施設勤務は2回目となります。3年ぶりに聞く、宮崎弁はとて暖かく、緊張とした気持ちを解きほぐしてくれます。

看護部の理念である「優しい心と笑顔で、責任ある看護」が提供できるよう、一つ一つに誠実に向き合い、役割を果たしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



新任紹介



氏名：中川 緑

勤務部署：小児科

趣味・特技：子どもと遊ぶこと

自己PR：宮崎大学小児科医局員としては初めて都城医療センターで働かせていただきます。

着任にあたっての抱負：一般小児やNICUの診療は初めてなので分からないことばかりで、ご迷惑おかけしますが頑張りますのでよろしくお願い致します。



氏名：松村 和季

勤務部署：外科

趣味・特技：ランニング

自己PR：体を動かすのが好きでよく走っています。大阪出身ですけどあんまりおもしろくはないです。

着任にあたっての抱負：手術はもちろん、色々なことを身につけたいと思っておりますので、何かありましたらすぐ対応します。



氏名：古郷 修一郎

勤務部署：泌尿器科

趣味・特技：スポーツ観戦

自己PR：

着任にあたっての抱負：都城の医療に貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。



氏名：古田 祐美

勤務部署：産婦人科

趣味・特技：食べること!

自己PR：子育て中ですがもりもりがんばります。

着任にあたっての抱負：少しでも周産期、婦人科医療に役立てるよう頑張ります。



氏名：庵原 貴子

勤務部署：1病棟

趣味・特技：祇園太鼓

自己PR：よく食べ、体力、健康が取り柄です。

着任にあたっての抱負：小倉医療センターより昇任で参りました。分からない事ばかりで、ご迷惑おかけすると思いますが、チームで患者さんにより添い優しいケアを目指して頑張ります。



氏名：南谷 曜平

勤務部署：小児科

趣味・特技：椎名林檎、野球、ボウリング
自己PR：鹿児島県出身なので都城の方言を聞くと落ち着きます。

着任にあたっての抱負：小児科入局1年目で頼りない面も多々あると思いますが、都城の小児医療に少しでも貢献できるよう頑張ります!



氏名：杉原 栄孝

勤務部署：外科

趣味・特技：野球観戦

自己PR：前任は熊本医療センターで、救急、がん診療を主に行っており、外科診療をこれから頑張っていきます。

着任にあたっての抱負：県南地域医療に精一杯貢献していきたいと思います。



氏名：土肥 容子

勤務部署：消化器内科

趣味・特技：水泳、ダイビング

自己PR：おいしいお酒、食事が好きなのでぜひ誘って下さい。せっかく九州に来られたので焼酎が飲めるようになりたいと思っています。

着任にあたっての抱負：医師6年目と経験も浅いですが、少しでも役に立てるよう努力しますので、御指導宜しくお願い致します。



氏名：宮元 一隆

勤務部署：泌尿器科

趣味・特技：温泉、サウナ

自己PR：結構年はいっておりますが頑張ります。

着任にあたっての抱負：前任の慶田先生、川平先生が築いてこられた仕事を引き継げるように頑張ります。



氏名：村社 瑞穂

勤務部署：麻酔科

趣味・特技：ジオラマ鑑賞

自己PR：小林市出身です。餃子が大好きです。

着任にあたっての抱負：一日でも早く環境に慣れ、自分に出来ることを精一杯頑張ります。ご指導の程よろしくお願い致します。



氏名：津曲 恭一

勤務部署：薬剤部

趣味・特技：テニス

自己PR：ジェネラリストな薬剤師を目指しています。

着任にあたっての抱負：2度目の勤務となりました。良質な医療の提供に尽力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

遺伝カウンセリング外来の開設

最近、「遺伝子」「DNA」「ヒトゲノム」などの言葉が新聞やテレビでよく聞かれるようになりました。研究の著しい進歩により、病気と「遺伝・遺伝子」との関連が急速に明らかとなり、ご家族や親戚・友人などの中にいわゆる「遺伝病」をもっておられる方や「遺伝子検査」を受けられた方または検査を考慮しておられる方もいらっしゃると思います。その際に、担当者から十分に説明を聞かれていると思いますが、一般の方々にとって、「遺伝」「遺伝子」「DNA」などはやはり難解なことが多いと思われれます。一方、「遺伝する病気」というと何か厄介なものという漠然としたイメージを持たれる方も多いのではないのでしょうか。

最近の報道では、妊婦の血液から胎児の染色体異常を調べられる「新型出生前診断」を、3年間で44施設において27,696人が受け、469人(1.7%)に陽性反応があり、異常が確定して妊娠を続けるかどうか選択できた346人のうち96.5%にあたる334人が中絶を選び、異常が分かっても12人が妊娠を継続したそうです(2016年5月25日、毎日新聞)。「命の選別」との指摘がある一方、利用が拡大していることも明らかになりました。

また女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが、2013年に乳腺を、2015年に卵巣、卵管を切除したことで話題となった「遺伝性乳がん卵巣がん症候群」のBRCA1/2遺伝子の遺伝子診断なども、近年施行されることが多くなってきています。

このような検査にあたり、患者さんが検査の意義や遺伝性の疾患について正しく理解し結果を落ち着いて受け止められるように支援するのが「遺伝カウンセリング」ですが、短時間で不十分な説明しか受けられなかったとの声も聞かれるようです。遺伝医療の専門家による遺伝カウンセリングが受けられる体制を整えておくことが、日本医学会の「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」において推奨されており、日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会の認定遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが中心になって遺伝カウンセリングを行うことが理想です。

本県には臨床遺伝専門医は私を含め6名、認定遺伝カウンセラーは1名のみであり、遺伝医療の専門家は不足していると考えられ、遺伝カウンセリングが十分に行われているのか心配されます。出生前診断や遺伝子診断のさらなる普及を前に、十分な遺伝カウンセリングが受けられる体制を確立していくことが重要であると考えます。

この度、都城医療センターでは皆様の「遺伝」「遺伝子」「遺伝病」などに関する疑問にお答えし、正しい理解を得ていただくために病院内に「遺伝カウンセリング外来」を設置いたしました。

この遺伝カウンセリング外来では、遺伝性疾患などに関するカウンセリング、遺伝性疾患に関する診断・治療についての情報提供などを行います。遺伝カウンセリングを希望される方は、どうぞお気軽にお申し出ください。受付は以下のようになっています。

遺伝カウンセリングの受付

電話で予約をお願いします。電話予約の受付時間は、月曜日から金曜日の9-16時です。

この際に予約日をお知らせいたします。

受付電話番号 0120-411-329

遺伝カウンセリングの日時

金曜日の午後2時から1時間

費用 初めてのカウンセリング 5,400円
2回目以降のカウンセリング 3,240円

(臨床遺伝センター長 阿南 隆一郎)

H28年度「コウノトリのおうち」を開催しました!

● H 29 年 3 月 11 日 (土) 大会議室にて、H 25 年 4 月から当院NICU・GCUを退院した児とその家族を対象に、患者会を開催しました。①児の誕生・成長に対する喜びの共有②参加者同士でお互いの育児などの疑問や不安を解決・リフレッシュを図る、以上の2点を目的として、アトラクション(手遊び・人形劇)と座談会を行いました。



患者会としては5年ぶりの開催でしたが、6ヶ月～2歳までの児とその家族、合計26組と多くの参加者が集いました。参加者は歌に合わせて手遊びを行い、人形劇(赤ずきんちゃん)では鑑賞しながら声を上げて喜び楽しむ姿が多くみられました。また座談会では、

保護者同士で育児についての悩みを相談し合ったり、ご家族ひとりひとりが児の入院中の様子や現在の成長した様子を全員へ発表される機会もあり、参加者・スタッフ共に当時を思い出され涙する場面もありました。

● 患者会終了後のアンケートでも「皆さんのお話を聞いて少し不安が和らいだ。一人じゃない、とても心強く思えた。」「普段小さい子供たちと触れ合う機会がないので、たくさんの子供たちと触れ合えて刺激を受けられてよかった。」など多くの感想をもらうことができました。



● 今回患者会で実際に児と接することで家族と共に成長の喜びを共有することができ、非常に感慨深い心温まる時間になったと思います。

● 次年度も同様、多くの方に参加して頂けるよう準備していきたいと思います。



スタッフの協力と
チームワークで、
大成功となりました!
ありがとう
ございました。

(NICU・GCU コウノトリのおうち 代表：濱畑 天神 中野 柳田)

第68回卒業証書授与式 平成29年3月2日(木)



木々が芽吹きはじめ、春めいたうらかな日和がつづく良き日に、私たち38名は卒業を迎えることができました。

不安と希望をもち臨んだ3年前の入学式がついこの前のことのように思い出されます。

1年生から始まった授業では、多くの講師の皆様から基礎的な知識や専門的な医療・看護の内容を教えていただきました。また、看護技術を身に付けるため、何度も練習を繰り返し、どのようにすれば

患者さんにとって安全安楽な看護になるのかを追求しながら、みんなと共に学んでいきました。

誓いの式では、一人一人が自分の看護観を深め、患者さんに心から寄り添い看護を行っていきたくと改めて決意した日でもありました。

特に実習では、患者さんや家族の皆様から多くのことを学ばせていただきました。実習指導者や病院関係者の皆様、教員からご指導をいただきながら、患者の価値観を尊重した個性のある看護を実践することができました。また、日々患者さんに自分ができることを考え、看護を実践するなかで、患者さんの「あなたに出会えてよかった」という言葉をいただいた時には、看護の喜びを感じることができました。

私たちが卒業を迎えることができたのは、多くの皆様の支えがあり、共に歩んできた仲間がいたからだと思います。ご支援いただいた講師の皆様、病院関係者の皆様、先生方、在校生の皆さん、そして家族に深く感謝いたします。本校の卒業生である誇りを胸に、これからも仲間とともに志を高く、最善の看護を追求し続け、日々精進していきたくと思います。

(卒業生代表 竹迫 未希)

第71回入学式 平成29年4月6日(木)

桜の花の咲き出すこの良き日に、私たち71回生40名は、独立行政法人国立病院機構都城医療センター附属看護学校に入学を許可していただきました。

私たちは、今、新しい仲間と共にこの学校で過ごす毎日への期待と不安でいっぱいです。

私が看護の道を志したのは、幼い時に会った看護師の患者さんへの温かい対応に感動し、看護師という職業に憧れをいだいたことがきっかけでした。

変化の目まぐるしい現代社会の中で医療現場においても、新しく高度な医療や質の高い看護が求められます。そのため、私たちは常に学び続ける向上心、自分で判断し、行動する対応力、そして、患者さんへ真摯に向き合い、心の支えになるための豊かな人間性を培っていかねばなりません。

これからの3年間、伝統あるこの学校で仲間と切磋琢磨し合い、将来、社会に羽ばたく立派な看護師になるため、精一杯努力することを誓います。

(新入生代表 川村 衣里)



NHO PRESS～国立病院機構通信～について

NHO 国立病院機構通信
PRESS
National Hospital Organization



都城医療センターは、国立病院機構（NHO：National Hospital Organization）という143の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS～国立病院機構通信～』を発行しています。外来ホールに設置していますので、ぜひご覧になってください。

なお、ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。

NHO PRESS

検 索



QRコード

外来診療科別週間担当医当番表 独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 29 年 5 月 1 日】

Table with columns for medical department (e.g., Internal Medicine, Pediatrics, Surgery) and days of the week (Monday to Friday). It lists the attending physician for each department and day, including details like '初診' (first visit) and '再診' (re-visit).

【その他の特殊診療】

Table listing special services such as Endoscopy Center, Gastroscopy, Bone Density Measurement, and Plastic Surgery, with their respective days and times.

- ※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。
※2 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前に診療FAX連絡票と共に、最新の血液データを送ってください。
※3 皮膚科の診察時間は、火曜、木曜、金曜の9時30分～13時となっております。
※4 がんサポート外来、緩和ケア外来については、事前にご相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
※5 セカンドオピニオンの受診についても、予約制となっております。がん相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
※6 ベイクリニクは歯科口腔外科を受診された患者様が対象となります。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人 国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・ 地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/syomu-2@hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会